

説教ドリル、7/12/09

みことば: 使徒 10 : 1-11 : 18

テーマ: 私は神の神殿 No.7

あなたがたは神の神殿であり、
神の御霊があなたがたに宿っておられることを
知らないのですか。(第一コリント三章一六節)



聖霊がどのように私たちを助けて下さるのか、その一例として、この箇所から探っていきます。

みことばの観察:

- 1) まず、11章の話しに注目しましょう。ここに集まっていた人々とは、どういった人々で、何について話し合っていたのでしょうか。11:18節の彼らのことばから、「いのちに至る悔い改め」に関して、当時のユダヤ人達が普通どんな考え方を持っていたことが分りますか。
- 2) 10章に戻って、ペテロが見た夢の話しの中で、彼が、大きな敷布の中にあつた動物や鳥たちをほふって食べることを拒否したのは、どういった理由によることでしたか。また、「**神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない**」とは、どういう意味ですか。「**神がきよめた物**」とは、この後起きることからして、何のことを指していたのでしょうか。
- 3) この箇所全体で、「**御霊**」、または「**聖霊**」ということばが出て来るところに線を引いて下さい。ヨハネの福音書の中で、聖霊が弟子達を助けて下さるといふイエス様のことばを頭に置きながら、この出来事を通して、聖霊がペテロにどのようなことをされたのか、説明して下さい。

個人的適用

- 1) あなたが過去に持っていた考え方、特に正しいと思っていたことが、みことばを学ぶにつれて、真理に反するもの、つまり間違っていたという体験はありますか。それが、どのようにして分つたのか、また、その真理を知らなかった時と、今の自分とどのように違うのか、説明(シェア)できますか。
- 2) もし、過去に持っていた考え方が正しくなかったとすれば、今持っている考え方の中にも正しくないものがまだあるかもしれないことを認めますか。もしそうだとすれば、その点において変わりたい(良くなりたい)と思いますか。では、変わるためには、どういった態度が必要でしょうか。
- 3) 「説教がむずかしい、分らない」というのは、どういった理由によるのでしょうか。また、「分つた」と思つても、実は「分っていない」ということはあり得るでしょうか。それは、どうしてでしょうか。その点において、聖霊様はどのように私たちを助けて下さると思いますか。

祈り

- 1) まずは、あなたがここまで真理を分ることができるようになったことを神様に、聖霊様に感謝しましょう。そして、これからも、まだ知らないことや、知っているつもりでも知らない真理が本当に分るように助けて下さるようお願いしましょう。
- 2) あなたのグループや家族が同じ真理を知っていくことによって、御霊の一致を保っていくことができるように祈りましょう。
- 3) 「すべての人」、「すべての聖徒たち」のために:彼らが聖霊によってイエス様のことばをもっと知ることができるように。また、最近の新来会者、将来の新来会者のために、聖書キャンプのために祈りましょう。